

令和4年度「長久手市役所の仕事」通知表の作成（外部評価⑧）

令和4年8月9日 開催概要

開催概要	
会議等の名称	令和4年度行政評価・外部評価⑧ <b>「緑化振興事業」【みどりの推進課】</b>
開催日時	令和4年8月9日（火） 午後3時から午後4時まで
開催場所	市役所北庁舎2階 第5会議室
出席者氏名 （敬称略）	<外部評価実施者（行政改革推進委員）> 室 淳子、樋口和則、安立憲市、近藤恵美子 <担当課> 建設部長 水野 泰 みどりの推進課長 山本一裕 緑化推進係長 作石裕介 <事務局> 総務部長 加藤英之、総務部次長 福岡隆也、 行政課長 若杉雅弥、課長補佐 水草 純、庶務係長 佐藤雄亮
傍聴者人数	1人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備考	

外部評価実施者の 質疑、意見等	<p>（委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山保全活動を担う団体の構成員はどのような。 ⇒地元住民が多いが、それ以外にもいる。南部地区は区画整理組合が解散後に組合員がNPO法人を設立し、保全活動を担っている。</li> </ul> <p>（委員）</p> <p>成果指標として、里山保全事業イベント参加者数とあるが、イベントに参加することと、放置されたところを整備することでは、レベルが違う。課としてはイベント者数が増えるだけでは、不十分ではないのか。</p> <p>⇒小中学校の親子向けイベントや、大学生と連携したイベントを実施しており、まずは里山保全活動に愛着をもってもらい、そこから活動していきたいという人を発掘していきたい。</p>
--------------------	---

(委員)

市の南部はみなみ里山クラブの活動により保全が進んでいる。北の松杣地区も手を加えれば良い里山になる。都市部と田舎が混在するところが長久手の魅力である。さらに里山の保全を推進するために、大学生の若い力を借りるといい。ただし、大学生を一時の利用として便利屋的に使ってはいけない。

⇒昨年度愛知学院大学と連携し、薪割り、火起こし体験を平成こども塾で実施していた。近隣の他大学にも声がけをし、継続的に関わってもらえるよう、これまで以上に若い力を取り入れていきたい。

(委員)

留学生にとって、日本の里山は魅力的である。また、近年はSDGsやジブリパークは大学生にとって魅力的なテーマであり、ぜひ呼び込んでいくといい。

(委員)

先日、ござらっせの近くの香流川沿いを歩いていた時、ホテルを見かけた。自然発生したものではないのかもしれないが、風景に溶け込むホテルはとても感動的であり、長久手の良い所として大事にしてほしい。

(委員)

海上の森では、子ども向け田植え・収穫体験イベントや餅つきなどが開催されていたり、林業体験のようなイベントも開催されていた。体験型イベントで親子を巻き込むといいと思う。ウォーキングルートを設定して歩いてもらう等、里山に親しみをもってもらえるといい。

(委員)

若い人も歩きたくなる散策路整備を行うといい。

講評・まとめ	<ul style="list-style-type: none"><li>・里山イベントに単に参加してもらうことと継続性をもった市民団体として里山の保全と活用を行ってもらうことでは、レベルが違う。担い手の確保につながるイベントの実施ができているか。</li><li>・若い担い手の発掘にあたっては、SDGs やジブリパーク等の情報を絡めて発信すると良い。</li></ul>
--------	--